



鶴見遺産

「生麦事件碑と参考館」

つるみ

8

2016

広報よこはま鶴見区版



生麦事件とは、今から154年前の文久2年(1862年)8月21日、鶴見区生麦で起きた薩摩藩士によるイギリス人殺傷事件です。現在、その発生場所周辺には、事件にかかわる銘板や碑(市登録文化財)が置かれています。また、生麦駅近くには事件に関する文献や写真などを展示する「生麦事件参考館」があり、館長の浅海武夫さんが長年かけて収集した貴重な資料を見ることが出来ます。
※参考館の見学は、要予約(☎503-3710・生麦1-11-20)



①生麦事件参考館
②参考館の浅海武夫館長③参考館の館内④事件現場にある銘板⑤明治16年に建立された生麦事件碑(現在は仮移設中)

夏のメはやっぱり花火!

第30回 鶴見川サマーフェスティバル

8月20日(土) 9時45分～19時45分 ※荒天は翌日21日(日)順延

鶴見川、佃野公園周辺(JR鶴見駅から徒歩15分) ※車でのお来場はできません

遊ぶ	食べる	観る	楽しむ
①Eボート等体験 ②鶴見川クルーズ	模擬店・PRブース (地域・協賛団体等)	コンサート (学生・地元団体の演奏・演技)	鶴見川花火大会 (打上げ数約1,700発)
①9時45分～15時(当日申込) 11時30分～19時30分 ②10時～15時(事前申込)※		13時～18時30分	19時～19時45分

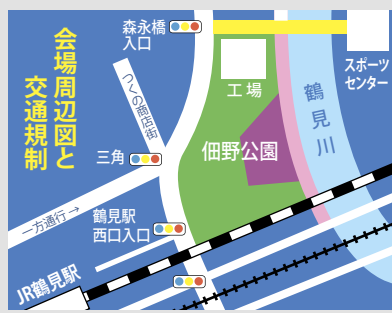
※ npo TRネット事務局 ☎546-4337 ☎546-4344 鶴見川サマーフェスティバル実行委員会 ☎521-8288

今年の見どころ

今年の鶴見川サマーフェスティバルは、記念すべき30回目を迎え、例年より花火が300発増えます。また、人気の鶴見川クルーズが大型船となり、一度に約40人の乗船が可能になります。さらに物産ブースでは、多文化のまち鶴見の特色を生かしたアジアンテイストの物販も増えるなど、見どころいっぱいです!



地域振興課 江口晃志



車両通行止め	18時30分～20時30分
車両進入禁止(自転車を含む)	16時～20時30分
	18時～20時30分

※16時～20時30分の間、会場周辺で交通規制があります。ご協力をお願いします

鶴見消防団 鶴見のまちを守る人探しています

災害はいつ起こるかわかりません。特に大規模災害の直後は、地元の人々しかいないため、その中で率先して活躍できる消防団員はなくてはならない存在です。

一方で、全国的に消防団員の数は減少傾向にあり、鶴見区も例外ではありません。そこで現在、鶴見消防団では団員を募集しています。この機会に、あなたも地元鶴見を守る消防団員として活躍してみませんか。

鶴見消防団防災フェア

10月30日(日) 10時～14時
総持寺大駐車場

消防団の活動が一目で分かる!



消防団になると

非常勤特別職の地方公務員となります。また、災害時対応はもちろん、ケガに対する応急手当や心肺蘇生法の救命措置に関する知識や技術が身に付く上、応急手当指導員の資格を取得できます。さらに、活動に応じて、報酬や報奨金が支払われます。



女性団員は年々増えています!

〈入団条件〉区内居住・勤務・在学の18歳以上の男女
〈主な活動〉消防署員との消火活動や救出、訓練、防災指導

申 問 鶴見消防署庶務課 ☎503-0119

子育てサポート ご自宅でお子さんを預かりませんか?



横浜市が実施する「子育てサポートシステム」は、地域の中で子どもを預けたり預かったりすることで人と人をつなげ、地域での子育てを支援することを目指しています。

子どもを「預かってほしい人」と「預かる人」が事前に登録することで、条件の合う近隣の人同士が会うことをサポートします。登録には、説明会への参加と研修(3日間)の受講が必要となります。まずは、下記までご連絡ください。

【内容】保育園等の送迎や預かり、学童保育から習い事への付添い など
【報酬】(月～金) 7時～19時 800円/時間
(土・日・祝)、上記以外の時間 900円/時間
その他、預かりの際に生じる交通費・実費

問 地域子育て支援拠点「わっくんひろば」 ☎582-7610 fax 582-7591

つるみやげ

9



昭和22年の誕生以来、製法、味ともに変わらない最中。和菓子の命でもあるあんは、渋をよく切り、冷水にさらし、丁寧に練り上げました。最中の皮も、こがねもちだけで作る最高のものを使用し、作り置きはしないというこだわりようです。第24回全国菓子大博覧会全菓子大賞ほか、多数の賞を受賞。(1個160円/税込)
〈鶴見中央4-28-18 鶴見銀座商店街協同組合〉

問 区役所地域振興係 ☎510-1688

予告 海を越えてつながる! 鶴見とブラジルの秘密

今月、南米初の五輪開催地となるブラジルは、鶴見区と深い縁のある国です。市内に住むブラジル人のうち、半数にあたる約1,000人が鶴見区で暮らしています。

そんな鶴見とブラジルの関係をひも解くコラムを次号から2か月連続で掲載。9月号では在東京ブラジル総領事館マルコ・ファラーニ総領事に、ブラジルの魅力をご紹介させていただきます。ぜひ、お楽しみに!

問 区役所区民活動支援係 ☎510-1691 fax 510-1892